

渥美半島生態系ネットワーク形成 ロードマップ

地域の現況

- 海あり山あり、半島ならではの豊かな自然
 - ・3方を海に囲まれた景勝地
 - ・国内最大級の干潟（汐川干潟、伊川津）
 - ・渡り・産卵・回遊の重要拠点
 - ・暖地性の自然林 など
- 自然の恵みがあってこそその産業や暮らし
 - ・全国1位の農業生産
 - ・アサリ漁やのり養殖等の水産業
 - ・豊かな自然を活かした観光
 - ・身近な自然と安定した経済が支える暮らし など

課題

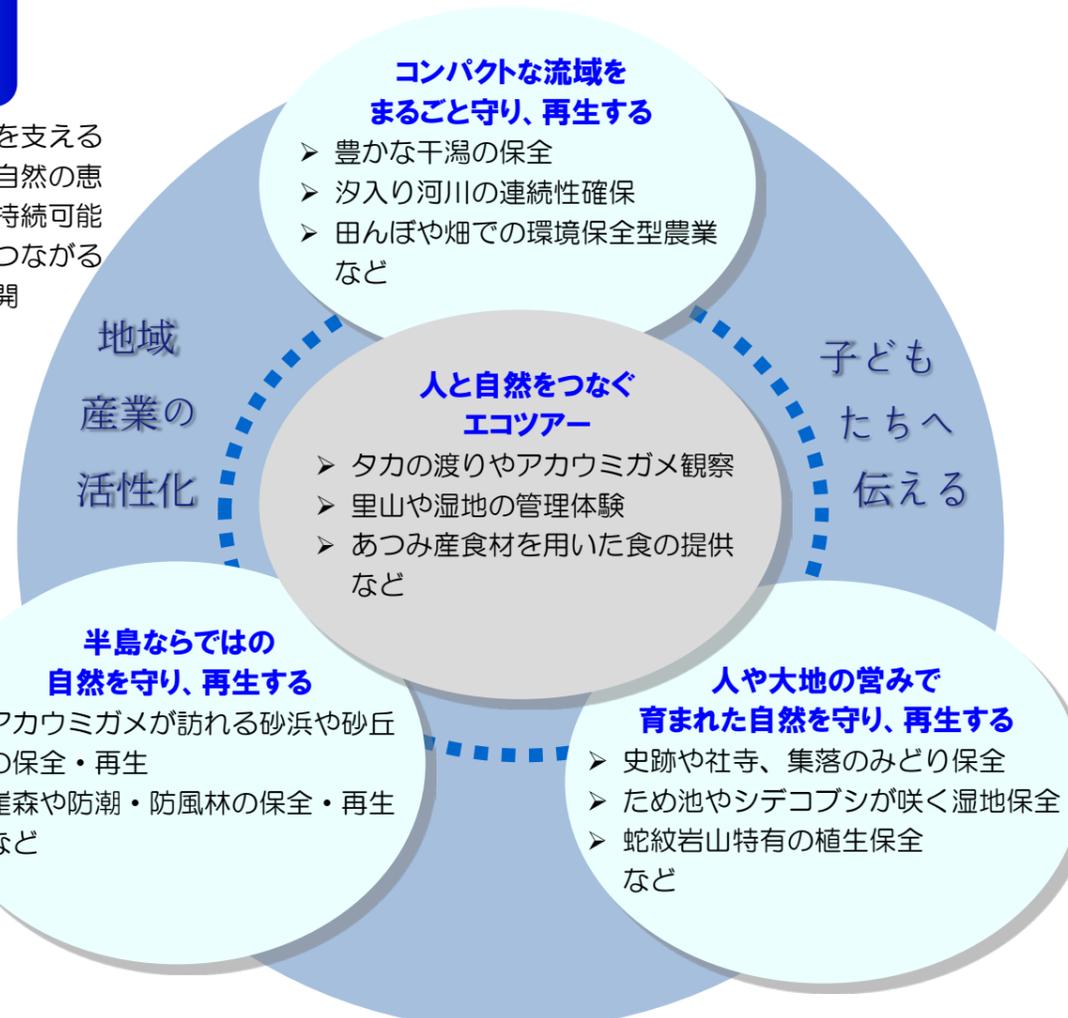
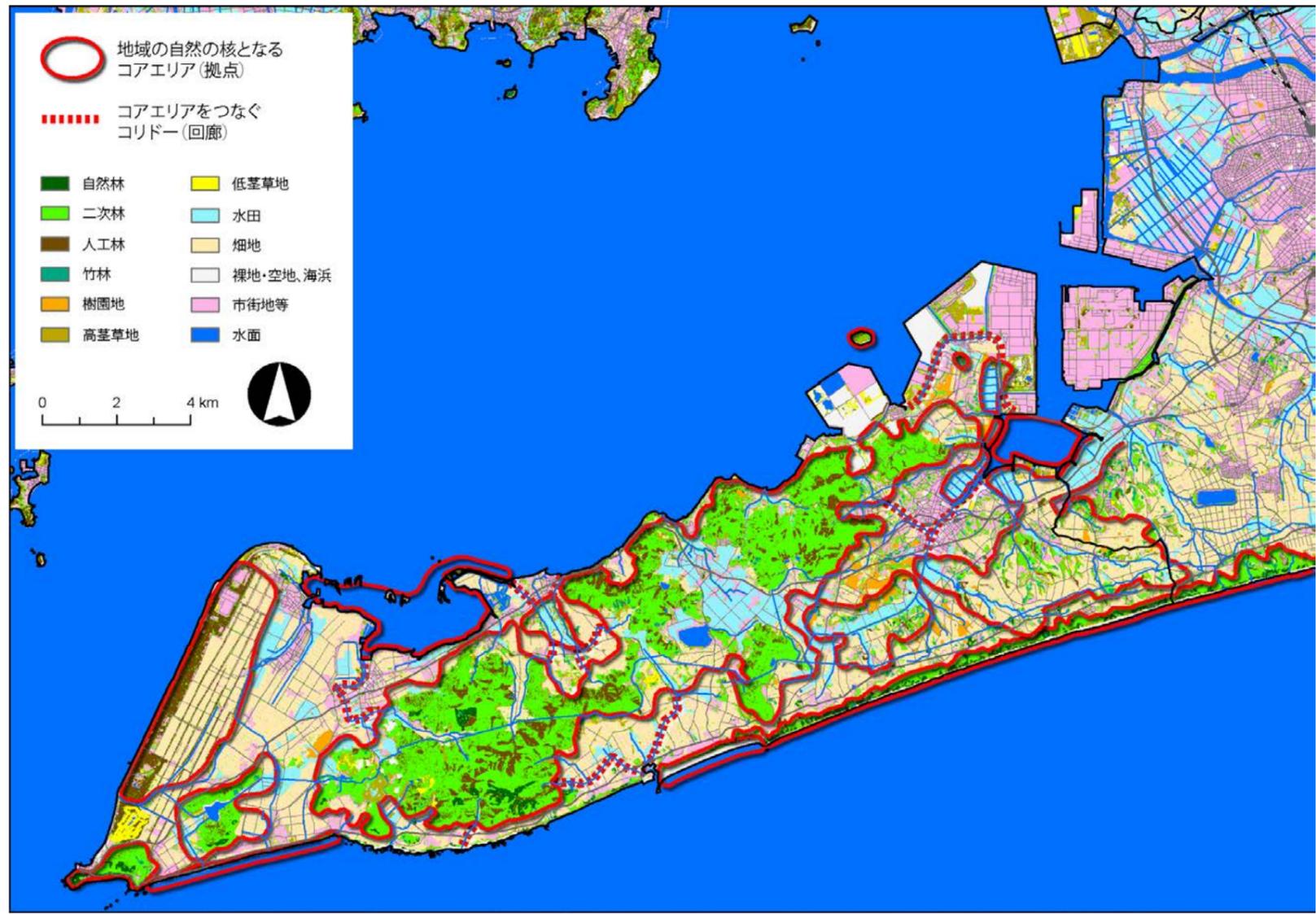
- 生物の生息生育環境を保全・再生する
 - ・河川や海辺の保全、海岸林の再生、農地や農地周辺の質の向上など
- 自然が観光をはじめ地域経済に役立つことが実感できるようにする
 - ・生態系ネットワーク形成に取り組む意義を、広く地域の主体に感じてもらう
 - ・観光をはじめ産業分野の方々、市民活動団体や近隣の学校に主体的に関わってもらう
- 地域と連携し、効果的な取組とする
 - ・地区ごとの特性や連帯力を活かす
 - ・東三河地域とのつながりを意識する

取組方針

産業や暮らしを支える基盤としての自然の恵みを活かし、持続可能な地域振興につながる取組を展開

テーマ

海と大地の恵みを活かし、人と自然を未来につなぐ渥美半島の創造



シンボルとなる生きもの

- ・タカの仲間
- ・アカウミガメ
- ・ゲンジボタル
- ・カスミサンショウウオ
- ・クロマツ
- ・シデコブシ
- ・ハマボウフウ
- ・ニホンイシガメ

構成団体

